

第5学年 道徳科学習指導案

1. 主題 伝統や文化を守るために (C-(17)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)
2. 教材 「曲げわっぱから伝わるもの」
3. 主題設定の理由

本学級の児童は、生まれ育った地域のことをよく知っている。「蒲郡の特産物といえば?」と尋ねると、「みかん」や「ガマゴリうどん」など、たくさんの声があがる。前学年で取り組んだ「環境チャレンジ」では、蒲郡の自然を守り、住んでいる地域を大切にしようという心情が芽生えた。さらに、郷土の伝統や特産品にかかわる人々の思いに触れながら、受け継がれてきたものを大切に、自分たちの役割について考えようとする心情を育んでいきたいと考えた。

本教材は、雪菜が「曲げわっぱ」の伝統を守り発展させている人々の努力や工夫、伝統や文化を守って次代につなげていきたいという思いをもつ話である。総合的な学習の時間「蒲郡もり上げプロジェクト～自慢の『金トビ志賀』を伝え隊～」で地元企業の努力や工夫を学んでいる児童に本教材を会わせることで、地元の伝統や文化を残したいという思いは、次の世代のためであり、郷土を愛しているからこそ出てくる気持ちであることに気づかせていきたい。そして、自身が伝統や文化を受け継いでいく存在なのだと思え、大切にしようとする心情を育んでいきたい。

4. 本時の学習活動

ねらい		
・「曲げわっぱ」の伝統を守り発展させている人々の姿に触れる機会を通して、受け継がれている伝統や文化を大切に、受け継いでいこうとする心情を育てる。		
時間	学習活動と子どもの思い	学びを支える手だて
0	1. テーマ「伝統と文化」について学習することを確認する。 曲げわっぱのような伝統工芸品に関心はあるかな？ ・家でおばあちゃんが筆やお皿を使っているよ。 ・一度使ってみたいけど、ほしいとは思わないな。 ・どこで売っているのかもあまり知らないな。	<b>手だて①-(ア)</b> 我が国の伝統や文化について知り、関心を引き出すために、事前に教材を読む時間を設ける。また、初発の感想をワークシートに記入させる。
5 10	2. 感想を交流して設定した「問い」について考える。 ・曲げわっぱにこんな良いところがあるなんてびっくり。 ・こんなにがんばって作っている職人さんはすごい！ 曲げわっぱの良い所と良くない所はどこだろう？ ・美しい形だし、機能がすごい。水分が出にくくなるから食べ物が腐りにくいよ。 ・日本しかないから海外に人気だよ。 ・職人の技術が詰まっているし、手作りだから温かさがある。 ・今まで受け継いできた伝統や歴史が感じられる。 ・木だから環境に良い。 ・職人さんが作るのが大変。 ・古臭い。もっとかわいいキャラクターのお弁当箱がよい。 ・環境に良いかもしれないけど、杉の木がなくなってしまう。 ・今のお弁当の方が温かいまま食べられる。 ・みんなは普通のお弁当箱なのに、一人だけ違ったら恥ずかしいし、ばかにされる。 ・ふたが外れやすいから持つときに気をつけないといけない。	<b>手だて③-(イ)</b> 自分の考えを気軽に話せるようにするために、適宜、自分の考えを心の数直線で数値化したり、ペアトークを取り入れたりする。 <b>手だて③-(イ)</b> 伝統を守る職人たちの思いに迫るために、動画「大館曲げわっぱ」を視聴する。 <b>手だて③-(イ)</b> 曲げわっぱの良さについての意見が多く出たところで、伝統品を使うことに価値を感じないという本音を引き出すために、「始めの雪菜にどのくらい共感できるかな」と問い返す。
25	伝統や文化は残さなければいけないのはどうしてかな？ ・職人の技術の高さや試行錯誤した苦労が無駄になる。 ・せっかく伝統を守ってきたのになくなるとかなしい。 ・日本の伝統が途切れてしまったら、どんどん日本らしさがなくなる。 ・残していった方が職人さんもうれしいけど、新しいことの方が魅力はあるから難しそうだな。	<b>手だて③-(ア)</b> 伝統工芸品の良い所と良くない所を様々な視点から考えられるように、機能性やデザイン性のある弁当箱を提示し、比較できるようにする。
35	3. 本時の振り返りを書き、交流する。 ・自分の生活は変わらないから伝統が無くなってもいいと思っていたけど、日本の誇りだから大切にしたい。 ・全く伝統や文化のことを知ってなかった。もっと未来のことちゃんと考えていきたいな。	<b>手だて⑤-(イ)</b> 「曲げわっぱ」以外の日本の伝統や文化に目が向けられるように、身近にある伝統や文化の写真を提示する。
評価		
・伝統や文化を継承する良さを考える中で自分自身を振り返り、自身が伝統や文化を受け継いでいく存在なのだと思え、郷土の伝統や文化を大切にしようとする心情を高められたか。 (発言、振り返り用紙より)		